

《担当者名》 佐々木 敏明 (客員) toshiaki-s@hoku-iryo-u.ac.jp 奥田 かおり

【概要】

現代の日本における精神保健に関する様々な個別課題への取り組みや地域における精神保健医療福祉活動の実際に関する知識を深め、精神保健福祉士の活動内容を理解することを目的とする。

【学修目標】

現代社会における精神保健に関する様々な課題について、どのような取り組みがなされているか、要点を説明できる。精神の保健に関する時事的な出来事に関して説明ができ、意見が述べられる。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	学習の目的・内容の説明 各自の精神保健への関心について意見を述べる。	奥田
2	精神保健の個別課題への取り組み	現代日本の家族の特徴を知り、家族の抱える問題について理解する。 ジェノグラムやエコマップなどを使いながら事例の家族の特徴・現状について説明できる。	奥田
3	精神保健の個別課題への取り組み	家族が抱える問題への支援について理解する 家族問題へ取り組むときに必要な社会保障制度、資源について調べる。	奥田
4	精神保健の個別課題への取り組み	学校、教員が抱える精神保健の課題について理解する。 現代の小・中・高校の生徒・教員が抱えている問題についてどのようなことが要因となっているか客観的に判断し説明できる。	奥田
5	精神保健の個別課題への取り組み	学校現場への支援について理解する 学校現場にはどのような支援が存在するかを調べる。 またどのようなサポートがあるとより生徒・教員が学校生活を送れるかをグループディスカッションを通じて批判する。	奥田
6	精神保健の個別課題への取り組み	現代勤労者の特徴、抱える課題について理解する。 近年の時事的な勤労者に関係する社会的現象について説明する(新聞等からこの問題に関する記事を探し、発表する)。	奥田
7	精神保健の個別課題への取り組み	勤労者、職場内への支援について理解する。 精神科医療で実際に行われているプログラムなどについてどのようなものがあるか調べ、批判する。	奥田
8	精神保健に関する対策とPSWの役割	発達障害に関する対策と支援について理解する。 発達障害を抱えて生きる当事者の事例を使いグループで支援について検討する。既存の社会資源について批判する。	奥田

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	実践現場におけるPSWの役割	精神障害者への就労支援について理解を深める。特別講師の講話に関してグループディスカッションで質問を列記し、実際に尋ねる。	奥田 小畑 友希（特別講師）
9	実践現場におけるPSWの役割	就労支援：就労支援サービスを受けている当事者の講話を聴き、就労支援の現状について理解を深める。特別講師の講話に関してグループディスカッションで質問を列記し、実際に尋ねる。	奥田 小畑 友希（特別講師） パン工房ひかり 当事者（未定）
10	精神保健に関する対策とPSWの役割	アルコール・薬物乱用問題に対する対策と支援について理解する。 アルコール依存の当事者と家族が抱える苦労について調べる。	佐々木
11	精神保健に関する対策とPSWの役割	うつ病と自殺防止について理解する。 グループディスカッションを通じてうつ病の早期発見、早期治療についての現状について批判する。	奥田
12	精神保健に関する対策とPSWの役割	ニート・ひきこもりの現状とその対策について理解を深める ニート・ひきこもりが抱える課題（社会的背景）についてグループでディスカッションをする 近年のひきこもり支援についての動画を見ながら、その支援方法について批判する	奥田
13	精神保健に関する対策とPSWの役割 海外における精神保健の現状	高齢化社会・発達と老化について理解する。ターミナルケアについて理解を深める 海外における精神保健の取り組みを知る WHOやOECDなどの国際機関による精神保健分野の調査資料に目を通し、世界的に共通する精神保健の課題について調べる。	奥田
14	精神保健に関する諸統計	近年の精神保健福祉における課題についての現状を統計で理解する。	佐々木
15	精神保健学 まとめ	今期、この授業で学んだことについてのグループプレゼンテーションを実施する。	奥田

#### 【授業実施形態】

##### 面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

#### 【評価方法】

定期試験 50% ゲストスピーカーへのリアクションペーパー 各10%  
授業参加態度(グループプレゼンテーション) 30%

#### 【教科書】

「新・精神保健福祉士養成講座2・精神保健の課題と支援」 中央法規

#### 【参考書】

「精神保健福祉白書 2018年版」 中央法規

#### 【備考】

この科目は精神保健福祉士国家試験受験資格取得のための「精神保健の課題と支援」に該当する。また介護福祉士国家試験受験

資格取得のための領域「こころとからだのしくみ、発達と老化の理解」に該当する。

**【学修の準備】**

- ・教科書やインターネットなどを活用して、次回の学習課題について予習しておくこと。
- ・各自の興味がある精神保健の問題について発表をするので新聞、インターネット、学術誌を用いて常日頃から精神保健に関する問題について調べておくこと。

**【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】**

DP2,3,5

**【実務経験】**

佐々木敏明(ソーシャルワーカー) 奥田かおり(ソーシャルワーカー)

**【実務経験を活かした教育内容】**

佐々木敏明： 精神保健福祉領域(行政・医療機関)での実務経験を通じて得た知識・技術等を活用し実践的な教育を行う。  
奥田かおり： 社会福祉施設(母子生活支援施設)、精神保健福祉領域(医療機関)などでの実務経験を活かしアクティブラーニングスタイルで実践的な教育を行う。